

所 属	商工労働部 モノづくり振興課		
担当(係)名	地場産業担当	内線	3094

新 地場産業別ビジネスモデル改革の促進

1 事業費	【財源内訳】	【主な使途】
25,500	一般財源 25,500	負担金、補助及び交付金 25,000
(前年度 0)		

2 背景・現状

陶磁器、刃物、木工、紙、アパレル等の本県の地場産業は大量生産型によるビジネスモデルで発展し、80～90年代にピークを迎えたが、近年の消費者ニーズの多様化、流通・販売ルートの変化、低価格な海外製品の台頭等の影響により出荷額は年々減少し、いずれの産地も企業の淘汰が進んでいる状況にある。

各地場企業は生き残りをかけて、高い技術水準を維持し続けるとともに、ビジネスモデルの転換を模索している。

3 事業目的

次世代を担う経営者の意識改革、製造現場の後継者の育成、産地が一体となった産業振興の取り組みへの支援等を通じて、業界・企業が主体となった地場産業のビジネスモデル改革を促進する。

4 事業概要

○産地・業種別ビジネスモデル改革支援の強化（500）

□産地活性化懇談会の開催

- ・陶磁器、刃物、木工、紙、アパレル等、地場産業の各産地を対象に、次世代を担う経営者等を集めての意見交換、新商品開発の先進事例発表等を開催

□産地活性化ワークショップの開催

- ・経営者、商品開発担当者、製造現場の中核人材等を対象に、産地・業種別による商品開発・販路開拓等のワークショップ、大学・公設試験場・産業支援機関のスペシャリスト等を活用した技術連携勉強会等を開催

○「国際陶磁器フェスティバル美濃’11」の開催（25,000）

- ・美濃焼産業の振興、陶磁器文化の振興、地域活性化を目的に3年に1度開催される同フェスティバルの開催経費の一部を負担するとともに、県も実行委員会の一員として、地元産業界及び市町村と一体となって事業を推進
- ・特に今回は、美濃焼産業の振興、地域の活性化に資する新たな取り組みを強化することにより、業界の発展に向けた意識改革、経営改革を促進

■主催：国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会

■会期：平成23年9月16日～10月23日

■内容：①第9回国際陶磁器展入賞・入選作品展示

②産業振興・地域振興事業（美濃焼商談会など12事業）

(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) (3) 工鉱業振興費 (明細書事業名) ○工業振興費 国内販路開拓促進事業費
(款) 7 商工費 (項) 1 商工費 (目) (3) 工鉱業振興費 (明細書事業名) ○デザイン改善指導費 開催負担金